様式第３号（第６号関係）

身体障害者診断書・意見書（　　　　　　障害用）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 　 | 生年月日 | 　　　　　　　　　　 | 年　　月　　日 | 男・女 |
| 住所 | 　 |
| ①　障害名（部位を明記） |
| ② | 原因となった疾病・外傷名 | 交通、労災、その他の事故、戦傷、戦災、自然災害、疾病、先天性、その他（　　　　） |
| ③　疾病・外傷発生年月日　　　　　年　　月　　日　・場所 |
| ④　参考となる経過・現症（エックス線及び検査所見を含む。）障害固定又は障害確定（推定）　　年　　月　　日 |
| ⑤　総合所見［将来再認定　　　要・不要　］［再認定の時期　１年後　・　３年後　・　５年後　］ |
| ⑥　その他参考となる合併症状 |
| 上記のとおり診断する。併せて下記の意見を付す。　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日病院又は診療所の名称　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　所在地　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　診療担当科名　　　　　　　科　　１５条指定医師氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 身体障害者福祉法第15条第３項の意見［障害程度等級についても参考意見を記入］　　障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に　　　　　　　　　・該当する　　（　　　　　級相当）　　　　　　　　　・該当しない |
| 注意　１　障害名には現在起こっている障害、例えば両眼視力障害、両耳ろう、右上下肢麻痺、心臓機能障害等を記入し、原因となった疾病には、緑内障、先天性難聴、脳卒中、僧帽弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入してください。　　　２　障害区分や等級決定のため、地方社会福祉審議会等から改めてお問い合わせする場合があります。 |

呼吸器の機能障害の状況及び所見

|  |
| --- |
| 　概ね３ヶ月以内の検査データを記載して下さい。　　　　　　　　　　　（該当するものを○でかこむこと）１　身体計測　　　　身長　　　　　cm　　　　体重　　　　　kg２　活動能力の程度　ア　激しい運動をした時だけ息切れがある。　イ　平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。　ウ　息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることがある。　エ　平坦な道を約100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。　オ　息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。３　胸部エックス線写真所見（　　　　年　　月　　日） |
| 　ア　胸膜癒着　　　　（無・軽度・中等度・高度）　イ　気腫化　　　　　（無・軽度・中等度・高度）　ウ　線維化　　　　　（無・軽度・中等度・高度）　エ　不透明肺　　　　（無・軽度・中等度・高度）　オ　胸郭変形　　　　（無・軽度・中等度・高度）　カ　心・縦隔の変形　（無・軽度・中等度・高度） |  |
| ４　換気機能（　　　　年　　月　　日）　＊アについては、下記の予測式を使用して算出すること。　ア　予測肺活量　　　　　　　・L　（実測肺活量　　　　　・L）　イ　１　秒　量　　　　　　　・L　（実測努力肺活量　　　・L）　ウ　予測肺活量１秒率　　　　・％　＝イア×100　肺活量予測式（L）　　男性　0.045×身長（cm）－0.023×年齢（歳）－2.258　　女性　0.032×身長（cm）－0.018×年齢（歳）－1.178　　（予測式の適応年齢は男性18-91歳、女性18-95歳であり、適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。）５　動脈血ガス（　　　　年　　月　　日）可能な限り室内空気吸入下で計測のこと　ア　Ｏ２分圧：・Torr　イ　CO２分圧：・Torr　ウ　pH　　 ：・　エ　採血より分析までに時間を要した場合　　時間分　オ　耳だ血を用いた場合：〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕　　＊酸素吸入下で計測した場合：採血時の酸素量　　　　リットル／分　　　動脈血ガス採血時に酸素を外せない理由 |
| ６　その他の臨床所見 | ＊指数Ｏ２分圧に不均衡がある場合等、障害等級を判断した理由を、判断の根拠となった他の検査データ等と併せて記載下さい。 |
|  |